

日常臨床のための対象関係論横浜セミナー第四期のご案内

——対象・疾患別による心理療法の実際——

講師：愛知教育大学 祖父江典人

事務局代表：北川清一郎（心理オフィス K 代表）

本横浜セミナーも第四期目となりました。今日臨床心理士・公認心理師の職域が広がりを見せつつあることを鑑み、精神分析的な心理療法の基本を踏まえながらも、日常臨床への精神分析の活かし方を検討することを、本セミナーの趣旨としています。

では、精神分析の考え方の基本とは何でしょうか。それは、「自己を知る」ということに尽きるかもしれません。ですが、医療のみならず、福祉・教育・産業などに及ぶ今日の臨床のすそ野を考えた場合、自由連想や解釈を中心とした技法によって、その目的を果たそうとすることは現実的ではありません。

さらには、今日増えている自我脆弱なクライアントを前にして、端から自己の苦痛な側面を知っていくことを実践することも現実的ではありません。なぜなら、それらのやり方は、いわゆる陰性治療反応を容易に招き、さまざまな行動化や悪化を招きかねないからです。

また、日常臨床においては、自己の病理や性格を変えていくという考え方も現実的ではありません。なぜなら、思春期・青年期にもなれば、自己のパーソナリティの構造の基本は形成されています。そこを変えていこうとするセラピスト側の姿勢自体が、クライアントの自己否定感を増強させかねないからです。

ですから、たとえマゾヒズム、サディズム、自己愛、境界例などのパーソナリティ構造を有していようとも、そうした自己を知ったうえで、自己を変えるのではなく、自己を活かそうとする視点が有用となります。病理と強みは裏腹だからです。たとえば、マゾヒズムの病理は我慢強さとして、健全な道に活かします。病理を知り、その苦痛をコンテインできれば、病理を活かす道は開かれうるのではないのでしょうか。

今期は、「対象・疾患別による心理療法の実際」をテーマにし、精神病から神経症、発達障害や子どもまでも対象にし、より実践的・具体的な対象関係論の日常臨床への応用を検討していきたいと思えます。乞うご期待ください。

なお、当日ご都合等によりセミナーに参加できなかつた方には、講義部分の録音 CD の貸し出しを行います。

どうぞ今期も皆様のご参加をお待ちしております。

定員：約 50 名

（ただし、30 名以上で開催予定です。30 名以下の場合、開催を取りやめさせていただきますことでもありますので、よろしくご了承ください）

会場：八洲学園大学（〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42）

アクセス：横浜駅（東口）から徒歩 10 分

横浜市営地下鉄「高島町」駅から徒歩 1 分

横浜高速鉄道みなとみらい線「新高島」駅から徒歩 5 分

京浜急行「戸部」駅から徒歩 5 分

※都合により会場が変更する場合がありますが、その際には必ず連絡させていただきます。

日程：毎月1回令和2年6月より原則第一日曜日（午後1時から5時まで4時間）
（計10回）（令和3年1月のみ第四日曜日）

受講料：4万円（院生、研究生3万円）

受講資格：臨床心理士、公認心理師、医師、臨床心理系の大学院生、守秘義務を持つ
専門家

締め切り 令和2年5月31日

お申し込みは別添の「第四期参加申込書」に記入の上、下記事務局までメールか郵送
でお申し込みください。振り込み口座等は、お申込のご連絡とともにメールにてご返
事させていただきます。

※なお、本セミナーは、日本臨床心理士資格認定協会、定例型（継続型）研修会（4ポ
イント）に申請予定です。また、日本精神分析学会の認定研修グループに認定されて
います。

事務局：北川清一郎

住所：〒222-0021 横浜市港北区篠原北2-4-17 ライラック103号

メールアドレス：seminar@yokopsy.com

※なお、祖父江典人著『公認心理師のための精神分析入門——保健医療、福祉、教育、司法・
犯罪、産業・労働領域での臨床実践』が2019年3月に誠信書房から刊行され、日常臨床に精
神分析をどのように活かすかの実践的知識から、副題にあるような公認心理師のすべての職域
に亘って、精神分析が具体的にどのように活かされるのか、臨床素材をもとに解説していま
す。本セミナーの基礎知識としてよろしければお求めください。これを含め、計6冊をいずれ
も特別割安価格にて販売いたしますので、ご希望の方は、「第四期参加申込書」の中の該当欄
にご記入ください。

次ページにセミナー予定を掲載します。

日常臨床のための対象関係論横浜セミナー第四期

前半：講義（講師祖父江）：13時より15時

「テーマ：対象・疾患別による心理療法の実際」

セミナー 講義スケジュール 令和2年度（2020） 約2時間		
月日	テーマ	講師
2020/6/7（日）	精神病の心理療法の実際——オグデンの無体験な自我へのアプローチ	祖父江典人
2020/7/5（日）	不安性障害の心理療法の実際——土居の甘え技法のアプローチ	同
2020/8/2（日）	強迫性障害の心理療法の実際——モーニング・ワークのアプローチ	同
2020/9/6（日）	スキゾイド・自己愛パーソナリティ障害の心理療法の実際——良性の投影同一化のアプローチ	同
2020/10/4（日）	心的外傷の心理療法の実際——愛と憎しみの分割のアプローチ	同
2020/11/1（日）	摂食障害の心理療法の実際——病的組織化へのアプローチ	同
2020/12/6（日）	抑うつ性障害の心理療法の実際——抑うつ不安へのアプローチ	同
2021/1/24（日）	成人アスペルガーの心理療法の実際——ビオン理論の応用アプローチ	同
2021/2/7（日）	子どものプレイセラピーの実際1——クライン～タスティン系列のアプローチ	同
2021/3/7（日）	子どものプレイセラピーの実際2——ウニコット～アルバレズ系列のアプローチ	同

※なお、上記講義を欠席された方は、希望により、録音CDの貸し出しを行います。

後半：症例（事例）検討：15時より17時まで

- ・参加者による症例（事例）提供と祖父江によるスーパービジョン方式です。症例（事例）発表者は、希望者の中から調整します。

なお、司会者を参加者の皆さんの中から順に立てる方向で調整します。後日事務局から問い合わせのメールをさせていただきます。

- ・症例（事例）検討の方法は、通常の検討会のやり方とあまり変わりません。事例の概要をA3用紙1枚程度でまとめていただき、あとは初回からの面接経過をまとめてください。

まとめたものは、一週間前ぐらいに、事務局の方まで添付ファイルにてお送りください。当日人数分用意します。

- ・なお、事例検討では、面接時間、面接頻度などの面接構造がはっきりしているセラピーのみならず、児童養護施設や福祉施設やスクールカウンセラーでの取り組み、さらには30分面接などのケースも歓迎します。たとえ枠がはっきりしない構造の中でも、対象関係論の見立てや考え方や工夫が充分貢献しうるからです。